

【資料3】 郷土教材、相互理解と主体性を意識したカリキュラム 【基礎期 社会科歴史】

単元名	小単元名	重要事項	郷土教材		相互理解と主体性	
			内容	種類	内容	相主
1	1	テーマを決めよう				
2	2	調べよう				
3	3	調べよう				
4	4	調べたことをまとめよう				
5	5	調べたことをまとめよう				
6	6	発表しよう				
7	1	遺跡を探る	岩宿遺跡 日高遺跡等	典型野外		
8	2	古墳から分かること	保渡古墳群 観音山古墳等	典型野外		
9	3	二つの時代の城下町を歩こう	箕輪城 金山城 高崎城 前橋城	典型		
10	4	宿場町を歩こう	中山道 倉賀野宿 坂本宿等	典型		
11	5	工場制手工業の発展を探る	桐生織	典型		
12	6	明治の建物を探る	富岡製糸場	典型		
13	7	軍都から平和都市へ	太田市 高崎市等	典型		
14	8	戦後復興へ向けて	上毛カルタの発売	典型		
15	9	地図からさぐる昔と今	新前橋駅付近 等	典型		
16	1	人類の出現と日本列島	岩宿遺跡 板倉の貝塚	典型		
17	2	文明の発生と東アジア世界	土器 磨製石器 中国文明 秦 漢		文明の比較(日本の文明含む)	
18	3	縄文文化と弥生文化	縄文土器 貝塚 稲作 金属器 弥生土器			
19	4	大王の出現	邪馬台国 前方後円墳 大和朝廷 大王		2世紀頃の東アジア	
20	5	古墳文化と渡来人	はにわ 渡来人 仏教		文化の伝播	
21		予備				
22	1	大化の改新への道のり	隋 唐 聖徳太子 大化の改新		遣隋使	
23	2	律令国家の成立	壬申の乱 大宝律令 律令国家 平城京	地名「群馬」と駅 国分寺	視点	白村江の戦 律令
24	3	奈良時代の貴族と農民	班田収授法 墾田永年私財法	上野国が納めた税	視点	
25	4	国際的な文化の関与	仏教 飛鳥文化 法隆寺 遣唐使 天平文化 東大寺 古事記 日本書紀 万葉集	万葉集の上野の歌	視点	文化の国際性
26	5	平安京と摂関政治	平安京 天台宗 真言宗 摂関政治	坂上田村麻呂の伝承	視点	蝦夷
27	6	文化の国風化	宋 国風文化 かな文字 紫式部 浄土信仰			文化の国風化
28		予備				
29		予備				
30	1	武士の成長	源氏 平氏 院政 平清盛	荘園	視点	
31	2	武家政権の成立	源頼朝 守護 鎌倉幕府 承久の乱	県内の八幡宮 謡曲「録の木」	視点	
32	3	武士と民衆の動き	御成敗式目			
33	4	鎌倉時代の宗教と文化	浄土宗 日蓮宗 禅宗 蓮蓬 平家物語	木曾三社神社と平家物語	視点	文化の比較
34	1	モンゴルの襲来と日本	モンゴル帝国 元 元寇 徳政令 足利尊氏	新田義貞	視点	元寇への対応
35	2	南北朝の動乱と東アジアの変動	建武の新政 南北朝時代 守護大名 後醍醐 勘合貿易 朝鮮国 琉球王国 アイヌ民族			琉球と蝦夷地
36	3	室町幕府と経済の発展	室町幕府 座			
37	4	民衆の成長と戦国大名	惣 下剋上 応仁の乱 戦国大名	群馬周辺の戦国大名	視点	
38	5	室町文化とその広がり	能 書院造 水墨画 お伽草紙	茶道や華道の教室	視点	室町文化の現代への影響
39		予備				
40		予備				
41		予備				
42		予備				
43		予備				
44	1	鉄砲とキリスト教の伝来	城下町 フランシスコ・ザビエル キリスト教 南蛮人	箕輪城 金山城など戦国時代の城	視点	西洋との出会い 鉄砲製造技術の習得
45	2	ヨーロッパ人來航の背景	ルネサンス 宗教改革			大航海時代の概要把握
46	3	織田信長・豊臣秀吉による統一事業	織田信長 柴市・楽座 豊臣秀吉			
47	4	兵農分離と朝鮮侵略	大岡捨地 刀狩 兵農分離			
48	5	桃山文化	桃山文化 千利休 南蛮貿易 南蛮文化			文化への政治の影響
49	1	江戸幕府の成立と支配のしくみ	徳川家康 江戸幕府 藩 武家諸法度 参勤交代	得川 世良田 群馬の藩・幕領	視点	
50	2	さまざまな身分と暮らし	武士 百姓 町人	県内の水牢	視点	
51	3	貿易の振興から鎖国へ	島原・天草一揆 鎖国	県内のマリア観音	視点	キリスト教の扱い
52	4	鎖国下の対外関係	通信使			鎖国をどう考えるか
53		予備				
54		予備				
55		予備				
56	1	産業の発達	新田 林仲間	新田地名 中山道と宿場	視点	
57	2	都市の繁栄と元禄文化	新屋敷 儒学 元禄文化 人形浄瑠璃 近松門左衛門 俳諧 松尾芭蕉 浮世絵			文化の比較
58	3	享保の改革と社会の変化	徳川吉宗 享保の改革 百姓一揆 打ちこわし	桐生織	視点	
59	4	幕府や諸藩の改革	田沼意次 松平定信 寛政の改革 藩校	浅間山の火噴火 前橋 好古堂	視点	
60	5	新しい学問と化政文化	国学 蘭学 化政文化 葛飾北斎 歌川広重 寺子屋	県内風景を描いた錦絵	視点	文化の比較
61	6	外国船の接近と天保の改革	外国船打私令 大塩平八郎 水野忠邦 天保の改革			間宮林蔵の北方探検
62		予備				
63		予備				
64	1	近代革命の時代	独立宣言 フランス革命 人権宣言			英仏米の近代化の経緯
65	2	産業革命と欧米諸国	産業革命 資本主義 社会主義 南北戦争			産業革命から海外進出する経緯
66	3	ヨーロッパのアジア侵略	アヘン戦争 太平天国 インドの大反乱			周辺国が植民地化される中での対応
67	4	開国と不平等条約	日米和親条約 日米修好通商条約	群馬の生糸商人	視点	砲艦外交への対応・開国後の対応
68	5	江戸幕府の滅亡	大政奉還 王政復古の大号令 戊辰戦争	小栗上野介	視点	開国もたらしたものの
69	1	新政府の成立	明治維新 五箇条の御誓文 版籍奉還 廢藩置県 解放令	県民の日と群馬県の成立	視点	
70	2	維新の三大革命	富国強兵 地租改正	旧吾妻第三小学校	典型	
71	3	文明国をめざして	殖産興業 文明開化 福沢諭吉	富岡製糸場 鉄道の開通	視点	西洋文化の流入・和魂洋才
72	4	近代的な国際関係	日清修好条規 日朝修好条規 琉球処分			使節団の受けた衝撃・近代化への決意
73	5	専制政治の不満	板垣退助 西南戦争 自由民権運動			
74	6	立憲国家の成立	自由党 立憲改進党 伊藤博文 内閣制度 大日本帝国憲法	群馬事件 県内の選挙	視点	国情と憲法
75		予備				
76		予備				
77	1	植民地獲得競争と東アジア	帝国主義			帝国主義への対応
78	2	日清戦争	日清戦争 下関条約 三国干渉			日清戦争前後の情勢と対応
79	3	義和団事件 日英同盟	義和団事件 日英同盟 日露戦争 ポーツマス条約	桜山の冬桜等日露戦勝記念物	視点	日露戦争前後の情勢・戦後の影響
80	4	韓国と中国	辛亥革命 中華民国			日本の植民地政策
81	5	産業革命の進展	産業革命 八幡製鉄所 財閥	鉄道の発達と製糸業 足尾銅毒事件	視点	日本の貿易
82	6	近代文化の形成	夏目漱石 黒田清輝	田山花袋 湯浅一郎など	視点	近代文化と西洋
83	1	第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦 ロシア革命 米騒動			第一次大戦前中の情勢と対応
84	2	国際協調の時代	ベルサイユ条約 民族自決 国際連盟			第一次大戦後の情勢と対応
85	3	アジアの民族運動	二十一条の要求 五・四運動 三一独立運動			第一次大戦後の情勢と対応
86	4	大正デモクラシー	護憲運動 政党内閣 普通選挙法 治安維持法			
87	5	社会運動の高まり	労働運動 小作争議 全国水平社 平塚雷鳥			
88	6	新しい生活と文化	関東大震災	県内の近代化 萩原明太郎など	視点	
89		予備				
90		予備				
91	1	世界恐慌とブロック経済	世界恐慌 ブロック経済 ニューディール			世界恐慌に対する各国の対応
92	2	欧米の情勢と日本	ファシズム	県内に現れた影響	視点	世界恐慌に対する各国の対応
93	3	日本の中国侵略	満州事変 五・一五事件 二・二六事件	満蒙開拓団	視点	世界恐慌に対する日本の対応
94	4	日中全面戦争	日中戦争 皇民化			中国との戦争
95	1	第二次世界大戦	第二次世界大戦 日独伊三国同盟 太平洋戦争			太平洋戦争前中の情勢と対応
96	2	戦時下の生活		風船爆弾 中島飛行機	視点	
97	3	戦争の終結	ポツダム宣言 原子爆弾	前橋などの空襲	視点	連合国の日本に対する対応
98	1	占領と日本の民主化	戦後改革 農地改革 日本国憲法 教育基本法	占領下でのエピソード	視点	アメリカの占領政策
99	2	つづの世界とアジア	国際連合 朝鮮戦争 中華人民共和国			冷戦下の世界情勢
100	3	国際社会に復帰する日本	自衛隊 サンフランシスコ平和条約 日米安全保障条約			冷戦下での対外関係の変化
101	1	日本経済の発展	高度経済成長 マスコミ 公害問題 石油危機	スバル360	視点	
102	2	国際関係の変化	日韓基本条約 日中平和友好条約 南北問題	群馬県出身の首相	視点	経済大国・日本の世界との関わり方
103	3	21世紀の世界と日本				歴史から考える、今後の日本の在り方
104		予備				
105		予備				

平成17年2月発行の東京書籍「新しい社会 歴史」をもとに作成した。

郷土教材の種類の欄の文字は、本文p3・表2の「郷土を教材とした学習の種類」に対応する。

野外～「郷土で学習 フィールドワーク」 典型～「郷土を学んで社会を理解」 視点～「郷土から見て社会を理解」 貢献～「課題を考え社会に貢献」は資料2 に、 は資料2 に取り上げた小単元や郷土教材などを表す。

【資料3】 郷土教材、相互理解と主体性を意識したカリキュラム 【基礎期 社会科地理】

単元名	小単元名	重要事項	郷土教材		相互理解と主体性	
			内容	種類	内容	相主
世界	1	地球儀と地図を使って調べてみよう	地球儀		写真の読み取り	
	2	地球儀と地図を使って調べてみよう	地球儀		地球の概略・用語の理解	
	3	わたしたちの生活と地図	縮尺 標準時 時差		地球儀、地図の扱い方	
	4	世界の国々を知ろう	国 地域 領土 国民 主権		縮尺、時差の求め方、地図帳の使い方	
	5	世界の地域区分	アフリカ ヨーロッパ アジア オセアニア 北アメリカ 南アメリカ 州		世界の国に対する既存認識	
	6	2世界の地域区分	アフリカ ヨーロッパ アジア オセアニア 北アメリカ 南アメリカ 州		世界の地域区分の概略	
	7	3国と国を分ける国境	国境		国境線の様子から国を考える	
	8	いろいろな国を探そう			世界の主な国についての概略	
	9	5世界旅行を企画しよう			テーマを決めて、世界の概略を理解	
	10	予備				
日本	1	地球儀で日本を見てみよう	ユーラシア大陸 標準時 子午線		地球儀、地図の読み取り	
	2	日本の国境を見てみよう	日本列島 北方領土	日本のへそ・渋川市	視点	国境から日本を考える
	3	日本の広さを調べてみよう	国土面積 領土 領海 経済水域			日本の領土の概略
	4	1日本のすがたをさがそう		鶴舞う形の群馬県	視点	
	5	2日本をながめてみよう				国内の様子の概略 既存認識
	6	3日本の地域区分	東日本 西日本			地域区分法 行政区分
	7	4都道府県を知ろう	都道府県	群馬県名の由来	視点	
	8	5都道府県を比べてみよう				さまざまな視点で都道府県を比較
	9	予備				
	10	予備				
身近な地域	1	身近な地域を見直そう	等高線 土地利用 地形図 縮尺	地形図等で、地域の特色の読み取り	視点	
	2	資料を使って見直そう		地形図等で、地域の特色の読み取り	視点	
	3	調査テーマを決めて、見直しを立てよう				
	4	調査テーマを決めて、見直しを立てよう				地形図等の読み取りによる見直し
	5	いろいろな方法で調べよう		文献、Web等による調査	典型	
	6	いろいろな方法で調べよう		フィールドワークによる調査	野外	
	7	いろいろな方法で調べよう		フィールドワークによる調査	野外	
	8	調査結果を整理・分析してまとめよう		調査結果の分析	野外	
	9	わかりやすい発表して学び合おう				多角的な視点から地域を認知
	10	予備				
都道府県	1	群馬県を調べよう	様々な視点から見た群馬	典型	群馬県の多様性	
	2	群馬県を調べよう	地域と産業、交通網のつながり	典型	地域と産業、交通網のつながり	
	3	群馬県を調べよう	自然を生かした生活・産業	典型	自然と生活との結びつき	
	4	群馬県を調べよう	群馬県の未来	典型	これからの群馬県	
	5	予備				
	6	予備				
	7	予備				
	8	予備				
	9	予備				
	10	予備				
調査	1	テーマで見る福岡県の特徴	群馬県との比較	視点		
	2	豊かな歴史と産業	エネルギー革命			
	3	さまざまな中心地...福岡				
	4	多彩な交流の拠点				
	5	1日本の首都...東京都	首都	上京経験・群馬県との比較	視点	
	6	2人口1200万の東京都	中枢機能 文化施設 都心 郊外			
	7	3他地域との密接な結びつき	一極集中 大企業 中小企業	群馬からの通勤・通学	視点	
	8	4世界都市...東京	成田空港 国際化			東京と世界とのつながり
	9	予備				
	10	予備				
世界	1	大きな国土と多様な自然	移民 先住の人々 人種 民族		自然の概要	
	2	さまざまな民族と文化			多民族国家としてのアメリカ	
	3	世界に影響をおよぼす産業	企業的な農業 バイオテクノロジー サンベルト			産業面における影響力
	4	世界の大国...アメリカ合衆国	多国籍企業			超大国アメリカと日本、世界の在り方
	5	1マレーシアの特色と多様性	植民地			東南アジアの概要
	6	2植民地とモノカルチャー	モノカルチャー プランテーション 華僑 華人			植民地と産業
	7	3マレーシアの近代化と変容				帯グラフの読み取り
	8	4マレーシアの今とこれから	アジアニース ルックイースト アセアン			今後のアジアの在り方
	9	予備				
	10	予備				
さまざまな面から見た日本	1	統計から見たフランス			主題図による各国比較	
	2	フランス文化の広がり	外国人労働者			
	3	フランスの産業の特色	少数民族 ユーロトンネル			ヨーロッパの民族・産業の概要
	4	フランスとEU	ヨーロッパ連合 ユーロ			EUの概略・日本から見たEU
	5	予備				
	6	1変化に富む世界の地形	環太平洋造山帯 アルプス・ヒマラヤ造山帯			世界の地形の概要
	7	2日本の地形	日本アルプス 平野 盆地 扇状地 三角州	大間々扇状地 利根川など	視点	日本の地形の概要・世界との比較
	8	3日本の地形	日本アルプス 平野 盆地 扇状地 三角州			日本の地形の概要・世界との比較
	9	4世界から見た日本の気候	乾燥帯 寒帯 熱帯 温帯 冷帯			世界から見た日本の気候の特色
	10	5世界から見た日本の気候	偏西風 季節風・モンスーン 梅雨 台風 亜熱帯			世界から見た日本の気候の特色
調査	1	世界から見た日本の気候	黒潮・日本海流 親潮・千島海流	県内の雨温図	視点	世界から見た日本の気候の特色
	2	自然災害と人々の暮らし	地震 津波 洪水 高潮 冷害 干ばつ 地球温暖化			日本の災害の概要
	3	予備				
	4	予備				
	5	1豊かさとしらし	都市再開発			世界の生活と日本の生活の比較
	6	2らしの変化と進む国際化	インターネット 国際化 国際理解			世界から見た日本の文化
	7	3らしの変化と進む国際化	インターネット 国際化 国際理解			世界から見た日本の文化
	8	4古都・京都に見る生活文化	世界文化遺産 古都保存法 文化財保護法 伝統産業	地域と京都の比較	視点	地域と京都の比較
	9	5独自の生活文化を持つ沖縄	さんごしやう 伝統芸能	地域と沖縄の比較	視点	日本全体から見た沖縄の文化
	10	1世界の人口分布とその推移	人口爆発			世界の人口の概要
調査	2	世界と日本の人口構成	高齢社会	外国人労働者の多い大泉町	典型	人口構成の比較・少子高齢社会を考える
	3	世界と日本の人口構成	高齢社会	外国人労働者の多い大泉町	視点	人口構成の比較・少子高齢社会を考える
	4	かたよる日本の人口分布	過密地域 過疎地域 村おこし	群馬県の人口分布・町おこし	視点	
	5	かたよる日本の人口分布	過密地域 過疎地域 村おこし			
	6	1世界の資源と日本	地球温暖化	理想の電化に電源群馬	視点	世界の資源の概要と日本の依存
	7	2変化する日本の農業	施設園芸農業 貿易自由化			貿易自由化と日本農家
	8	3世界と日本の林業と漁業	大陸棚 経済水域 養殖漁業 栽培漁業 成田空港			日本の漁業と国際問題
	9	4工業立国・日本の特色	太平洋ベルト 臨海工業地域 貿易摩擦 アジアニース	北関東工業地域 県内のハイテク産業	典型	貿易摩擦への対応
	10	5工業立国・日本の特色	太平洋ベルト 臨海工業地域 貿易摩擦 アジアニース	北関東工業地域 県内のハイテク産業	視点	貿易摩擦への対応
	11	6発展するさまざまな産業				
12	7国際化時代の産業と環境	外国人労働者	外国人が多い群馬県		日本の産業と国際化社会	
13	予備					
14	予備					
15	1密接につながる日本と世界				日本と世界の交通、情報のつながり	
16	2世界と日本の貿易	加工貿易			輸出入品、輸出入相手国の比較	
17	3世界と日本の貿易	加工貿易			輸出入品、輸出入相手国の比較	
18	4広がる日本の交通・通信網					
19	5交通がもたらす地域の変容	本州四国連絡橋 瀬戸大橋	交通網への群馬からのアクセス	視点		
20	1多様な特色を持つ日本				日本の地理的な特色を表現(文)	
21	2外国人旅行者に日本をわかってもらおう				日本の地理的な特色を表現(言葉・絵)	
22	3日本旅行プランを作ってみよう				外国人に日本の特色を理解してもらう旅行計画作り	
23	4関連づけと重ね合わせで見る日本の特色				データの関連づけによる日本の特色	
24	5地域区分に挑戦				同じ特色による地域分け	
25	予備					
26	予備					

平成17年2月発行の東京書籍「新しい社会 地理」をもとに作成した。  
 郷土教材の種類の欄の文字は、本文p3表2の「郷土を教材とした学習の種類」に対応する。  
 野外～「郷土で学習、フィールドワーク」、典型～「郷土を学んで社会を理解」、視点～「郷土から見て社会を理解」、貢献～「課題を考え社会に貢献」  
 は資料2 に、 は資料2 に取り上げた小単元や郷土教材などを表す。 太枠囲みは、授業実践をした単元を表す。

【資料3】 郷土教材、相互理解と主体性を意識したカリキュラム 【充実期 社会科公民】

単元名	重要事項	郷土教材		相互理解と主体性	
		内容	種類	内容	相主
1 現代の社会を探ってみよう	現代の社会を探ってみよう				
2 電化製品が家庭に普及	高度経済成長	スバル350 県内家電メーカー	視点		
3 食生活の変化	食糧自給率	サンヨー食品	典型	食の国際化・各国の食糧自給率	
4 変わってきた生活と職業	少子高齢社会 ボランティア活動 サービス産業				
5 情報社会とわたしたちの暮らし	マスメディア 情報社会 インターネット				
6 パンダが日本にやってきた	日中平和友好条約			中国、アジア各国との関係	
7 多文化社会に生きる	多文化社会 共生社会	外国人が多く住む大泉町	典型	「内なる国際化」の進展状況	
8 まどめと発表をしよう				多角的な視点で日本を見る	
9 予備					
10 予備					
11 1 家族と社会生活	男女共同参画社会基本法 男女共同参画社会	かかあ天下	視点		
12 2 わたしたちと社会生活					
13 1 人権を考えよう					
14 2 人権の歴史と日本国憲法の制定	社会権 大日本帝国憲法 日本国憲法			人権思想の成立と発展	
15 3 日本国憲法の基本原理	民主主義 基本的人権の尊重 平和主義				
16 4 基本的人権と個人の尊重	基本的人権			世界と日本の現状から考える基本的人権	
17 予備					
18 予備					
19 予備					
20 1 とともに生きる				民族差別撤廃	
21 2 とともに生きる				その他の差別撤廃	
22 3 自由に生きる・自由権	自由権				
23 4 豊かに生きる・社会権	社会権 教育を受ける権利 勤労の権利 労働基本権				
24 5 人権保障を確かなものに	参政権 選挙権 請願権 公共の福祉 普通教育を受けさせる義務 勤労の義務 納税の義務				
25 6 社会の発展と新しい人権	環境権 知る権利 情報公開制度 プライバシーの権利				
26 7 国際社会と人権	世界人権宣言 国際人権規約			世界の人権問題と日本	
27 1 人々の意見を政治に生かす					
28 2 民主主義とは	政治 民主主義 多数決の原理				
29 3 選挙のしくみと課題	普通選挙 平等選挙 直接選挙 秘密選挙 小選挙区比例代表並立制				
30 4 政治参加と世論	政治参加 世論				
31 5 政党と政治	政党 与党 野党				
32 予備					
33 予備					
34 予備					
35 予備					
36 予備					
37 1 議会制民主主義と国会	議会制民主主義 国会 衆議院 参議院 衆議院の優越			他国の政治制度との比較	
38 2 国会のはたらき	法律の制定 予算 内閣総理大臣の指名				
39 3 行政と内閣	行政 内閣 内閣総理大臣 首相 議院内閣制 内閣不信任の決議 衆議院を解散 総辞職	群馬県出身の首相	視点		
40 4 現代の行政	行政権の肥大化 規制緩和	構造改革特区	典型		
41 5 法を守る裁判所	法 司法 裁判所 最高裁判所 下級裁判所 三審制 司法権の独立	前橋地方裁判所	視点		
42 6 裁判の種類と人権	民事裁判 原告 被告 刑事裁判 検察官 被疑者 被告人 逮捕令状 捜索令状				
43 7 三権の抑制と均衡	三権分立 違憲審査制				
44 1 わたしたちと地方自治	地方公共団体 地方自治 首長 地方議会 条例	高崎市等の条例や首長	典型		
45 2 地方分権と住民参加	地方分権 直接請求権				
46 3 地域づくり	NPO				
47 4 まちづくりを調べる		県内のNPO	典型		
48 5 わたしたちと日本の政治	グローバル化	県内のまちづくり事業	典型	自分の郷土のために、自分でできること	
49 予備				地球全体の問題、今自分にできること	
50 予備					
51 予備					
52 1 ハンバーガーショップの経営者になってみよう！					
53 2 消費と貯蓄	商品の選択 消費支出 貯蓄 所得			日本の貯蓄率の高さ	
54 3 消費者の権利と保護	消費者主権 消費者運動 製造物責任法			欧米の消費者保護との比較	
55 4 流通のしくみ	流通 商業	野菜が家庭に届くまで	典型		
56 5 生産のしくみ	企業 資本主義経済 資本 利潤 公企業 私企業 株式会社 株式 株主			資本主義の国々、社会主義の国々	
57 1 市場経済のしくみ	市場 市場経済 需要量 供給量 市場価格 均衡価格	廃棄キャベツ	視点		
58 2 市場と価格	価格 寡占 独占価格 独占禁止法	サンヨー食品と生産の集中	典型		
59 3 金融のはたらき	金融 利子 中央銀行	県内の金融機関	視点		
60 4 働く人たちの生活向上	労働組合 労働災害			労働時間の国際比較	
61 予備					
62 予備					
63 予備					
64 1 政府の仕事と租税	社会資本 公共サービス 税金 消費税 直接税 間接税 累進課税	学校周辺の社会資本、公共サービス	視点		
65 2 財政のはたらき	財政 公共投資 財政政策 公債	県の財政	典型		
66 3 社会保障と国民の福祉	社会保障			社会保障の他国との比較	
67 4 公害の防止と環境保全	公害 住民運動 環境基本法	尾瀬の環境保全	典型		
68 5 日本経済の課題	パブル経済 サービス ソフト 情報通信産業	県内のベンチャー企業	視点		
69 1 地球市民をめざして	グローバル社会	地域からできること	貢献	「地球市民」としての資質	
70 2 資源・エネルギー問題		地域からできること	貢献	世界のエネルギー事情	
71 3 地球環境問題を考える		地域からできること	貢献	環境問題に対して、自分にできること	
72 4 アジアの森林と日本		地域からできること	貢献	熱帯林保護のために、自分にできること	
73 5 人口・食糧問題	南北問題 アジアNIES	地域からできること	貢献	人口、食糧問題に対して、自分にできること	
74 予備					
75 予備					
76 1 地域主義の動き	地域主義 EU(ヨーロッパ連合) ASEAN			アジアの新地域圏の構想	
77 2 地域紛争と民族問題	地域紛争 民族紛争			世界各地の紛争	
78 3 主権国家と国際社会	主権 主権国家 経済水域 国際法 相互依存			日本の領土問題	
79 4 国際連合のしくみとはたらき	国際連合 総会 安全保障理事会 専門機関 拒否権	明石康氏	視点	国連の概要 日本の常任理事国入り問題	
80 5 世界平和と実現	平和主義 日米安全保障条約 非核三原則 核拡散防止条約			平和とは何か	
81 6 よりよい世界のために	政府開発援助(ODA) NGO			日本のODA	
82 予備					
83 予備					
84 予備					
85 予備					

平成17年2月発行の東京書籍「新しい社会 公民」をもとに作成した。

郷土教材の種類の欄の文字は、本文p3・表2の「郷土を教材とした学習の種類」に対応する。

野外～郷土で学習、フィールドワーク、 典型～郷土を学んで社会を理解、 視点～郷土から見て社会を理解、 貢献～課題を考え社会に貢献、 は資料2 に、 は資料2 に取り上げた小単元や郷土教材などを表す。